

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌に対する E-pass score と予後の関係
	研究目的	Estimation of physiologic ability and surgical stress (EPASS) score は術前リスクスコアと手術侵襲スコアにより規定されるスコアで、さまざまな癌腫の術後合併症の危険因子となることが報告されている。一方で、EPASS score と予後に関しては明らかではない。今回我々は胃癌に対する切除例の EPASS score の総合リスクスコア (Comprehensive risk score ; CRS) が予後に与える影響を後方視的に検討する。
	研究対象者	2008年1月から2014年12月まで Stage II/III の胃癌に対し手術を施行した症例のうち、特殊組織型、在院死亡、非治癒切除、残胃癌、術前化学療法施行例、同時他癌を除いた 299 例を対象とし、CRS と予後について検討を行う。ROC 曲線を用いてカットオフ値を決定し、Score の低いと高い症例の 2 群に分け、各群における臨床病理学的因子を比較し、全生存期間に関する解析を行う。
	研究期間	西 暦 2020 年 2 月 27 日 ~ 西 暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科 胃食道
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし